

はっくつ
 ～発掘でわかる戦争への備え～

年 組 名 前

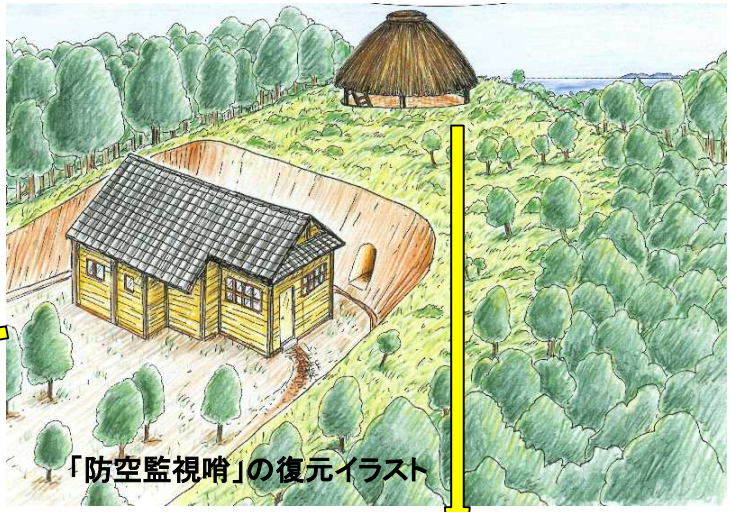
だいにじせかいだいせん
 第二次世界大戦の末期になると、隠岐には戦争に関係した施設がつけられました。

Challenge!

下の写真は、「大床遺跡」で見つかった第二次世界大戦中の防空監視哨かんししょう（見張り所）の施設です。



大床遺跡



「防空監視哨」の復元イラスト



島根県内の見張り所の位置



発掘された「聴音壕」

① 見張り所は、島根県内のどんなところに置かれていますか。

② 上の写真は、地面に直径3mほどの穴を掘り、レンガを積んだものです。何のための施設でしょう？

- 海に面している。山間部にもいくつかある。
- 島根県全体に広がっている。
- 東部と隠岐は海岸に多くあり、西部は山間部に多い。

- 敵の船や飛行機の音を聞く施設。



見つかった食器（左は横から、右は食器の底）

左の食器は、大床遺跡で見つかった食器です。「国民食器」と呼ばれ、戦争で物品が不足したために、政府が作って配給したものです。「岐960」という番号がついています。

コラム

